

2022年4月19日

ESG 投資の株式指数「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に選定

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 執行役員社長：清水和志）は、FTSE Blossom Japan Sector Relative Index の構成銘柄に選定されましたので、お知らせいたします。



FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

グローバルインデックスプロバイダーである FTSE Russell により構築された FTSE Blossom Japan Sector Relative Index は、各セクターにおいて相対的に、環境・社会・ガバナンス（ESG）の対応に優れた日本企業のパフォーマンスを反映するインデックスで、セクター・ニュートラルとなるよう設計されています。また、低炭素経済への移行を促進するため、特に温室効果ガス排出量の多い企業については、TPI 経営品質スコア¹により改善の取り組みが評価される企業のみを組み入れています。

さらに、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）は3月、国内株式を対象とした ESG 総合指数として、新たに同インデックスを採用し、運用を開始しています。

当社は、世界中で必要とされる“Global Excellent Manufacturing Company”への飛躍を目指し、ESG を意識した経営を推進しています。今回の選定を契機に、その歩みをさらに加速させてまいります。

¹ TPI（Transition Pathway Initiative）経営品質スコアは、企業の温室効果ガス排出量および低炭素への移行に関連するリスクと機会の管理の質を評価するもの

<FTSE Blossom Japan Sector Relative Index>

<https://www.ftserussell.com/ja/products/indices/blossom-japan>

以 上

―― 住友理工について ―――

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車（モビリティ）分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制震部品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。世界20ヶ国以上に広がるグローバルネットワークを活用して、人・社会・地球の安全・快適・環境に貢献する“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋
tel 052-571-0259 e-mail product.info@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>